

紙芝居連続講座 in 埼玉・KOSHIGAYA

正司 顕好

埼玉県越谷市にある埼玉東萌短期大学（幼児保育学科）で八月から九月にかけて紙芝居の三回連続講座が開催され四十四名の参加者がありました。

地元埼玉県内から二十三名、東京都から十一名、千葉県から九名、神奈川県から一名でした。

職種別では保育者が三十七名、元小学校教諭が二名、会社員が一名、ボランティアが四名でした。

男女別では、男性が九名、女性が三十五名でした。参加者の八割以上が幼児保育の現場で働く先生方で男性参加者の八割以上が四十歳以下の若い世代であったというのも特徴でした。

受講後の感想をお聞きすると「同じ児童文化財でも紙芝居と絵本が、これだけ違うと思わなかった。明日からの保育現場で、早速役立てたい。」「紙芝居の奥深さを知ることができてよかった。さらに、もっともつと学んでいきたい。」「子どもたちに感動を手渡せる紙芝居の実演ができるようになりたい。絵本と併せて実践していきたい。」等の前向きなご意見をたくさんいただきました。

今後も保育現場が、子どもたちのより良い成長のために、変化していくことを期待しています。

会場いっぱいの参加者



紙芝居の歴史について語る



- 8月18日 講師 酒井京子
総論・演じ方・演じてみよう
- 9月1日 講師 日下部茂子
歴史・作品論と選び方・演じてみよう
- 9月22日 講師 松井エイコ
絵本と紙芝居の違い・作品にこめられたもの・演じてみよう